

まちだ市民大学HATS 法律・国際学講座

法律講座

(くらしに生きる法律)

これからのくらしと法律

いま見ているもの、手にふれているもの、聞こえてくることに法が関係しています。コロナ禍を経験した、わたしたちのこれからのくらしは法というレンズを通すと、どのように見えてくるのでしょうか。

日時:6月～8月 全8回 火曜日18:00～20:00
定員:56名 どなたでも 資料代:3,000円

コロナ禍での感染症と法

裁判員制度10年の実際とこれから

生きる権利

～やまゆり園事件を通して、あの事件から何を学ぶのか～

公園はいつも法とともに

スポーツを巡る法的な世界

サイバーテロに国際法は
どう対処しようとしているのか

インターネットにおける権利侵害と
プライバシー保護

【公開】宇宙活動と国際ルール



国際学講座

(まちだ市民国際学)

世界の中の日本・日本の中の世界

ウイズ/ポスト・コロナの世界で、より一層の国際協調が求められる中、分断と対立が深刻さを増している。本講座を糸口に、米中の狭間にある日本とこれからを見据え、身近な国際問題を考えていきたい。

日時:9月～11月 全8回 火曜日18:00～20:00
定員:60名 どなたでも 資料代:3,000円

日本をめぐる国際環境
～ジョン・万次郎からジョー・バイデンまで、日米関係を中心に～

【公開】ポスト・コロナの国際秩序
～国際協調の課題～

サイバー空間を利用した情報戦

緊迫する国際情勢と日本の安全保障

香港をめぐる米中対立のゆくえと
日本のこれから

新型コロナがあぶり出す世界の医療格差
～公平な医療・保険サービスへのアクセスの実現に向けて～

外国人労働者と日本

共生社会に向けて
～外国人と日本人がともに生きる社会～



【受講者の声】

- ・身近なのに知らなかった個々の法律について、理解を深めることができた。
- ・今回は、非常に幅広い分野をカバーしていたので、その目配りに感謝いたします。

【受講者の声】

- ・どの講義も大変面白かったです。知らない事ばかりで、とても刺激になりました。
- ・初めて「まちだ市民大学」に出ましたが、とても高度な内容だと感じました。